



# 山桜

高階西中だより 第19号

平成30年 3月 5日

川越市立高階西中学校

## 「あなたは『母校』が好きですか？」

～「唯一無二の母校 高階西中学校」で生活することについて考えよう～

校長 長井正邦

ある企業の人事担当（採用試験の面接担当）の方から伺った話です。

採用試験の面接の際に、「あなたは『母校』が好きですか？」という質問を学生さんにぶつけます。もちろん、自分の母校に誇りをもち、その理由をはっきり語れる学生さんを評価します。逆に世間の評判が一流校であっても、母校に対して不平不満を語る学生さんには厳しい評価を下します。

理由は二つあります。

1. 「母校に愛着心をもてない人」は、入社してから我が社を好きになってもらえないと予想できるから。
2. 「母校が好きと答える人」は、大抵の場合、学生時代が充実していたと想像できるからです。

お話を聞いて、私は考えました。人は会社の為だけに働くわけではありませんし、プライベートを全て犠牲にしてまで会社に尽くさなくてはいけないとも思いません。しかし、同じ働くなら自分の会社を良くしたい、会社とともに自分も成長したいと考えることは間違っていないと思います。

また、何かにつけて自分以外のまわりに対して不平不満を言う人がいますが、人は生きていくとたくさんの壁（課題）に直面します。むしろ、年齢とともに直面する壁の数も増え、その高さも高くなります。そんな時、起きてしまったことや他人に責任を求め不平不満を口にするより、前向きに一歩踏み出して取り組むことや自分自身を変えようとするの方が大切だと思います。まさに、「過去と他人は変えられない。未来と自分は変えられる。」の精神です。

ある企業の人事担当の方がおっしゃった「母校が好き」ということは、「自分の母校を大切に思い、プライドをもつこと」で、結局のところ「本当の意味で、自分を大切にすること」だと思います。

3年生は、「卒業」まで残りわずかとなりました。同時に、2年生は「最高(好)学年」、1年生は「先輩」まで残りわずかとなりました。

人生において、卒業する中学校はたった一つです。皆さんにとって「高階西中学校は、唯一無二の母校」です。この時期こそ、全ての皆さんが「母校」で生活することをじっくり考えてください。期待しています。

### 3月の主な予定

1日(木)	県公立高校学力検査(85名・78%) 新入生対象中学校説明会	15日(木)	第32回卒業式 (卒業生109名予定)
2日(金)	県公立高校実技検査・面接 (48名・44%) 生徒会専門委員会(1・2年のみ)	16日(金)	1・2年朝会 3年臨時休業日(～26日)
5日(月)	安全点検週間(～9日)	17日(土)～18日(日)	関東中学校選抜卓球大会(卓球部) (栃木県栃木市総合体育館)
6日(火)	生徒朝会	21日(水)	春分の日
8日(木)	3年生を送る会 PTA新旧理事会(図書室)	22日(木)	1・2年給食最終日
9日(金)	県公立高校入学許可候補者発表(9:00)	23日(金)	小学校卒業式(高階西小・高階南小)
13日(火)	表彰朝会 3年給食最終日	26日(月)	修了式
14日(水)	卒業式予行・準備	27日(火)	学年末休業日(～31日)
		4月 6日(金)	準備登校
		9日(月)	平成30年度1学期始業式・入学式

## 「部活動で得られる力」を大切にしよう！



本校「部活動規程」において、「部活動は、スポーツや芸術に興味と関心をもつ同好の生徒で組織し、部員同士の切磋琢磨や自己の能力に応じてより高い水準の技能や記録に挑戦する中で、スポーツの楽しさや喜び、芸術の尊さを味わう等自主的、自発的な活動である。この活動を通して、生徒の心身の健全育成と豊かな人間性の育成を目指すことを目的とする。」とその目的と意義を定めています。

PTA 並びに教育振興会に、横断幕とのぼりをつくっていただきました！(関東大会3/17・18)

部活動は、「自尊感情」を高めることにもよい影響を与えます。試合で勝つことやコンクールで入賞することも重要ですが、日々の練習を積み重ねることによって昨日できなかったことが今日できるようになる経験を味わうことができます。

また、部活動では自分以外の人を思いやる心も育ちます。仲間のミスフォローする気持ち、練習する場や道具に感謝する気持ちなど、人として生きていくうえで大切な数多くのことを学ぶことができます。人間関係など多くの課題にぶつかった時に仲間や先輩と話し合い、可能な限り多くの人々が納得できる「最適解」を見つけ出すことは、将来の人生において必ず役に立ちます。人は一人の力には限界がありますが、仲間と力を合わせて、話し合いによって取り組めば大きな力を生み出すことができます。

部活動を通して、タイムマネジメントの力も身に付けることができます。自分の技術を向上させたり、レギュラーになって試合やコンクールに出場したりしたいのであれば、毎日決められた時間に自主的に練習するなど、自分で一日のタイムスケジュールを決めて継続することが必要になります。学習も疎かにできませんから、両立のためにタイムマネジメントが必要になります。人に与えられた時間は平等に一日24時間ですから、例えば家庭学習の時間を午後9時から11時に設定し、三年間続けることが重要です。



「川越市立中学校美術部の祭典」において、美術館長賞(第一位)に輝いた美術部の共同作品 モザイクアート「明日へ」

このように、「部活動で得られる力」は数知れません。

これらいずれの力も、子供たちが社会に出て活躍する十数年後にも大切さを実感する力です。本校では、子供たちの将来を見据えて、そのために必要な力を育成していきます。保護者・地域の皆様の、一層の御理解と御協力をお願いします。

(次回は、本校の部活動の現状と課題)



埼玉県吹奏楽コンクール西部地区大会で銅賞に輝いた吹奏楽部 地域貢献も行っています！ 1/20ふれあいの森コンサート 9/28高階西小